

機械工学委員会・総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同理論応用力学分科会（第25期・第7回）・同分科会理論応用力学企画小委員会（第25期・第6回）合同会議
議事要旨

1. 日 時 令和5年9月4日（水）13:30～15:30
2. 会 場 九州大学大学院工学研究院機械工学部門会議室
（ウェスト4号館914号室）及び
オンライン（ハイブリッド開催）
（会場：福岡市西区元岡744（昭和バス 九大工学部前下車））
3. 出席者： 委員長◎，副委員長○，幹事△
対面参加者 高田保之（◎分科会，小委員会），菱田公一，前川宏一（○分科会），
近藤智恵子，高木周（△分科会），松尾亜希子（○小委員会，△分科会），
山西陽子（△小委員会），田川義之，但野茂，福本康秀
オンライン参加者 荒木雅子，金田行雄，亀田正治，岸本喜久雄，堀宗朗，
長井宏平，梶島岳夫，北村隆行，木村芳文，塚田竹美，新野宏，
水野毅，緑川光正
オブザーバ参加 森口周二（東北大学）

4. 議 題

- 1) 議事要旨の確認について（資料 25-7-1，資料 25-7-2）
第6回分科会議事要旨および，第5回理論応用力学企画小委員会議事要旨についてそれぞれ確認され，承認された。
- 2) 理論応用力学企画小委員会報告・未来の学術振興構想について
（資料 25-7-3）
高田委員長より未来の学術振興構想について「データ駆動型社会に向けた力学基盤の強化による社会的・産業的課題解決への貢献」というタイトルで提出されたことが報告された。審査段階で日本機械学会からの提案とマージすることとなった。本構想における分科会の代表は松尾先生，日本機械学会の代表は伊藤先生。
- 3) 学協会連携小委員会報告（資料 25-7-4）
前川委員より次回の第67回理論応用力学講演会は2024年9月3日から6日ないし7日のDynamics&Design Conference2024との合同開

催予定であることが報告された。主催は日本工学会、主幹事は日本機械学会機械力学・計測制御部門が幹事担当、実行委員長は神奈川大学の山崎徹先生、場所は神奈川大学の横浜キャンパスか、みなとみらいキャンパスで開催予定。

4) IUTAM・国際連携小委員会報告（資料 25-7-5, 資料 25-7-6）

第 8 回理論応用力学シンポジウムにおいて IUTAM・国際連携小委員会の企画を行い、IUTAM シンポジウム提案の活性化、在日の国際理論応用力学研究者の組織化を趣旨として行われた。

また IUTAM・国際連携小委員会の効率化のため一時期に増えた委員数を他の小委員会と同程度とし、IUTAM・国際連携小委員会に関心のある現小委員は非公式のオブザーバ参加として小委員会の活動に貢献してもらう方向となった。

ICTAM2024 の説明があった。2024 年 8 月 25-30 日に韓国・大邱 (DAEGU) で開催される。日本からの多くの参加者が期待されている。日本からのスピーカーが少ないため次回以降は日本のプレゼンスを伸ばす方向で調整することが望ましい。

5) 理論応用力学シンポジウムについて

IUTAM シンポジウムの提案の活性化と在日の国際理論応用力学研究者の組織化を目標とし、次回も Dr. Ettore Barbieri を中心に国際理論応用力学研究者による企画を行うこととなった。次回の理論応用力学シンポジウムは 2024 年春頃に開催されることが報告された。

6) 次期(第 26 期)分科会について（資料 25-7-7, 資料 25-7-8）

9 月に 25 期が終了し 10 月より新しい 26 期が開始される。新しい期となり小委員会を立ち上げ直す。意思の表出や国際対応の小委員会などシームレスに活動するために理論応用力学分科会と IUTAM・国際連携小委員会の設置申請書の提出を完了したことが報告された。

6) その他

今回の委員会で第 25 期は終了。

議事要旨の委員長一任について承認された。

4. 配付資料

資料 25-7-1 第 6 回分科会議事要旨

- 資料 25-7-2 第 5 回理論応用力学企画小委員会議事要旨
- 資料 25-7-3 未来の学術構想「データ駆動社会に向けた力学基盤の深化と展開」
- 資料 25-7-4 学協会連携小委員会報告
- 資料 25-7-5 IUTAM・国際連携小委員会報告
- 資料 25-7-6 ICTAM2024_Call for papers
- 資料 25-7-7 【設置提案書】理論応用力学分科会(機工)
- 資料 25-7-8 【設置提案書】IUTAM・国際連携小委員会(機工)